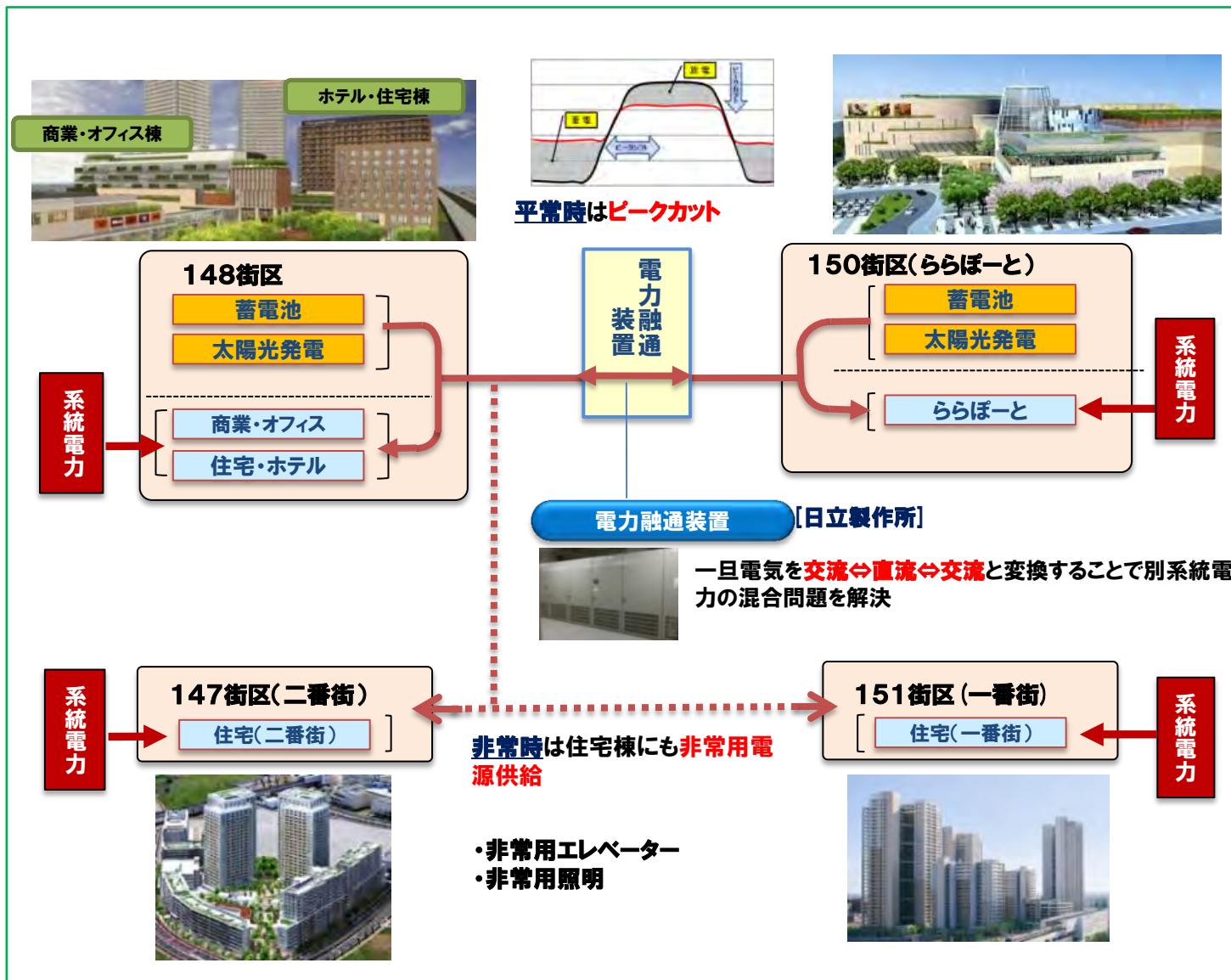


■ 電力融通(別系統受電の建物間での電力融通)



■ 電力融通(別系統受電の建物間での電力融通)

●ピークカット(平常時)

- ・夜間電力および太陽光発電を蓄電池に蓄電し、街区を超えた電力融通により**ピーク電力をカット(ウルトラピークカットにもつながる)**
- ・電力ピークの異なる建物用途間で蓄電池を共用することで、さらなるピークカットを実現(建物単体22% ⇒ 蓄電池の共用26%)
- ・各施設の系統最大負荷を低減することで、系統側の供給調整にも寄与
⇒ **地域の省エネルギー・省CO2に大きく貢献**

●エリア防災の強化(非常時)

- ・災害時には蓄電池および太陽光発電から、電力融通により街区間を超え**住宅棟も含めて非常用電力を供給**
- ・自営線具備により、系統停電時も地域の自律エネルギーを施設間でシェアし、生活機能を維持する

●ビジネスモデル

- ・多額の設備投資を行っているが、各施設のウルトラピークにおける電力量を見直すことにより、148街区複合施設とららぽーとの二施設だけで年間2,000万円の電力料金の削減が見込まれる
⇒ **15年で投資回収可能**

7. エネルギーマネジメント事業の今後の展開

拠点からの情報発信と公・民・学の各チャネルで全国、世界へ展開

(特定供給の要件緩和により育てたビジネスモデルを、電力システム改革後に加速的に普及することを可能とする。)

柏の葉・柏市から



国 環境未来都市・地域活性化総合特区に選定 (スマートシティモデル都市)

公 プラチナ構想ネットワーク

民 スマートシティ企画会社
コンソーシアム

民 経団連 (未来都市モデルプロジェクト)

学 アジア大学発
ベンチャー企業ネットワーク

アジア各国、欧米諸国や国内含め、年間200回以上の視察受け入れ(2011年度)

